

十一月五雲能

十一月十九日(土)
午後一時始

正午開場
於宝生能樂堂

演目の解説

13:00 枕 慈童 シテ野月 聡

ワキ 梅村 昌功
ツケ 野口 善博
" 野口 琢弘

大鼓 坂安福

正博

太鼓 小寺真佐寛
藤田 貴寛

13:45 樋の酒

中村 修一

飯月 晴夫

後見 川金 岩上
木瀬 秀祥
上野 隆士
野谷 哲也
能寛 寛也

地謡

當金山 岩上
淳良 賢昂
司充 郎平

佐渡 佐小
野邊 野林
玄茂 晋
宜人 登也

14:20 花 筐 ツレ辰巳大二郎
子方敷 俊太郎
シテ水上 優

ワキ 野口 能弘
ツケ 野口 能弘
" 吉田 琢
" 小林 祐一
" 小林 都一

大鼓 佃良太郎
小鼓 鳥山直也

成田 寛人

後見 澤武 孝史
田辰 宏司

地謡

金田辰鶴 和航
森崎巳田 晋甫磨己

内大東東 光尚
藤友川川 順夫史
飛 能

16:00 橋 弁慶 トモ朝倉 大輔
子方出雲路 啓
シテ今井 基

後見 今宝 和英
井生 泰行

間 野村 裕基

地謡

佐金石岩 和孝
野野黒上 和音則
弘泰 昂
宜大空平

藪小倉 和久
小倉健 莊太郎
克伸 太徳 郎郎

へ 休憩 十五分

へ 休憩 十五分

命をにこ打でれは言すかり共詣
的誓翻の合五よ、つるり道を(武能
ない弄小い条うそてとのの命と蔵「
出まさ男にのとれ引聞小五じき坊橋
会すれが臨橋難なきいの男条ま弁
い。、牛みへ刀ら留たのがのすう慶
を義降若ま出へばめのい橋がでは
描経参丸す向なかまでてに、、(は
きととし。きぎえす止、、從に北は
ま弁てはさ、なつ。め通最者出野し
す慶家知すそたてした行近はよ神べ
。、来らがの退か方人十神う社ん
二なずの少を治しがに二社とへけ
人る、弁年かし弁い悪、へ從丑い
のこ散慶とつて慶いさ三の者(の
運と々ものいくとをば通に刻

にた皇のをびます皇たたとが武
な舞の宮伴なす子ま皇たたとが武
なりを前でつが。の宿皇り武皇前
、舞で一てら皇臣下子下がに遽天五の国
共い、行天も子下がり仕都皇代あ
を、李に皇断がかり位文して上後
許再夫追のち皇らをえにの継当た
さび人い後切位をといたことた大
れ召をつをれをと日にててて部
す使うたい想承筐た照としてた迹
。わ漢照、いしををと前な継い皇
れ王日大かた手こ前はり体ま子
るをは和ら事渡ろはり天しは
とつ天穂女喜れ、まし皇た神

すにげ飲妙きさて年のく議入り能
。祝、ん文添れしも穆思なる魏能
福長でをえたま昔王にそのに菊水帝
の寿不菊らといのに存出のの仕
言を老のれきまこ仕のに源をえ
葉も不葉た、すとえ存出のの仕
をた死に枕法。なたをいぎをえ
捧らと写を華慈のとを疑ま乱尋
げしなし賜経童でい疑すれね臣
舞枕たそて二こさ、と。るて下
ををこのお句のらそ、臣場山が
舞讚と露りの山にれ慈下所中、
いえをの、偈に疑は童がでへ命
ま、告水こを放わ八は訝不分命
帝をの書逐れ百周し思けに

チケット料金(税込)

全席自由席
一般 5,500円
学生 2,750円
(当日要学生証提示)

ご購入は、各能楽師
または
オンラインチケット
・宝生会事務局まで



終演予定十六時四十五分頃